

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		コンビニ（経営者）	・ゴールデンウィークに向けて来客数が期待できる。
		観光名所（職員）	・予約数の動きが良い。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・ゴールデンウィーク10連休の中で特に前半の受注が大幅に増加しており、満車状態である。
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要が来場組数にも表れ、商談内容も早期契約に向け進捗している。
		百貨店（店舗企画）	・しばらくは中国人観光客の免税売上が伸び悩むと予測されることから、変わらず苦戦するものとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・毎年2月は1年で一番寒く、冬物の処分やセールなどで、売上をつかむ。しかし今年は季節外れの暑さが続いており、冬物の売上が最終的に取れない状態である。景気の浮揚感は今のところ全くみえていない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年度末の繁忙期に入るが、今のところ例年と大きく変わる見込みはない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は、今月同様に前年実績を下回る見込みである。前年実績を上回る客室稼働率の月は依然として少なく、厳しい状況が続いている。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築受注は安定しているが、建築着工後の現場の人手不足による工期遅れが気掛かりである。
		スーパー（企画担当）	・競合の総合スーパー開店による影響を受けると考えられる。
		観光型ホテル（代表取締役）	・沖縄への中国人観光客の数字が12月から落ちてきている。その影響から他社が違う動きをしていて、我々のターゲットとする客とかがぶるようになってきている。ホテルの数も増えているので、競争激化が予想される。
		旅行代理店（マネージャー）	・年度末や予算消化なのかギリギリで飛び込んできた案件が多かったため、その反動で取扱が減らないか心配である。
		通信会社（営業担当）	・3月をピークに4～5月は販売が冷え込む時期であり、また、総務省の指摘による料金プランの改定や、秋の新規参入を待つ買い控えが予想される。
		×	商店街（代表者）
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・食料品の値上げ、大型ショッピングセンターの出店、大手コンビニの進出でアルバイトの雇用が8,000名ほど必要と噂され、求人を掛けても反応がゼロの状態が続いている。少ないスタッフでシフトを回さねばならず、労働時間を守るために、店休日を入れて調整しているが、売上が上げられず、機会損失を起こしている。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・民間工事主体で横ばいの見込みである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島はホテルや量販店等の民需や、陸上自衛隊関連の工事等の官需も増勢だが、基地建設の優先により、離島向け碎石の出荷が制限されている。今後の碎石メーカーの対応を期待する。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動は、景気の後押しもあってか、客を受け入れるためのインフラ整備に比重を置く傾向があり、広告やイベント等の需要は伸び悩んでいるように感じている。
		輸送業（経営企画室）	・中国の電子商取引法による規制が始まった。その影響もあり中国国内の商品価格の変動や、これまでのような沖縄県内に来て商品を買うというスキーム自体が難しくなったこと等、大きな影響があり実際に商品販売量が下向きになるという話がある。そのため、当分は景気の下降が続くのではないかと考えられる。
	×	建設業（経営者）	・新築住宅の相談客の来社件数が下降気味である。

雇用 関連  (沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・全体的な求人数が増加傾向にある。
		人材派遣会社（総務担当）	・年度末にかけては繁忙な時期で求人も増えるが、年度初めは人の入れ替わりで一旦落ち着く時期であり、全体的には景気の状態は余り変わらないとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・4～5月は、求人意欲は高い状況が続き、件数的には2月と同程度の件数で推移するとみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・大卒求人の3月解禁を控え、各企業での採用活動が始まっている。前年に比べそのペースこそ少し早いとは感じるが、特段、景気の上昇を感じるまでの動きは見込んでいない。
			-
	x	-	-